



# 熊本県 PTA 新聞

熊本県PTA連合会  
www.kumamoto-pta.com  
〒860-0842 熊本市中央区  
南千反畑町3-7  
熊本県総合福祉センター4F  
TEL(096)354-5919  
FAX(096)354-5913  
✉ info@kumamoto-pta.com

●発行人 村崎 一英  
●単位PTA数 348  
●発行部数 73,200部

印刷 株式会社キャップ  
TEL(096)362-3333  
制作 ワタナベデザイン  
TEL(0969)22-1089

監修 熊本県人権教育研究協議会

2面	ちよつと一言 県文化課より 熊本の学び推進プランについて
3面	他団体との 教育懇談会報告
4面	令和2年豪雨災害 について特集① ハートフル講座 表彰紹介
5面	コロナ禍で頑張る 子どもたち
6面	親子ふれあいデー活動報告 ふれあい読書研究会報告 単P紹介
7面	県より保護者へ 家庭部会研修会報告 熊本県PTA共済 小・中学生総合保障制度 委員会報告
8面	豪雨災害義援金配分報告・お礼 県PTA研究大会宇土大会案内 編集後記

令和2年度を振り返って 私たちにとって「しんぼづ」の一年

## 「子どもたちの学びを止めない」活動を共に



熊本県PTA連合会  
会長 村崎 一英



本年度は会員の皆様におかれましても「しんぼづ」の一年であったかと思えます。長期間の二斉休校の中、不安を抱えたままのスタートを余儀なくされ、それでも、これまで「子どもたちの明るく健やかな学校生活」のため、今できることを模索しながらPTA活動を続けて下さった皆様に心から感謝申し上げます。

これからはまだまだ当分の間は、十分な感染予防に努めながらの難しい活動になるかと思えます。ですが、これまで模索を続けてきたことは、必ず次へと結びついて行きますし、リモート等の活用出来る新たなツールも出てきています。PTAとしてあらゆる手段を講じながら「子どもたちの学びを止めない」という強い気持ちを持ち、これからも活動を共にして参りましょう。

## 第65回 日本PTA九州ブロック研究大会 くまもと大会



### 特別分科会 I 【防災・復興】シンポジウム

日時 令和2年10月1日(木)  
場所 熊本県総合福祉センター

#### 「県P連の責務」との思いで実施した特別分科会



熊本県PTA連合会理事  
総務委員  
池田 幸司

本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止が決定してしまいました。しかし、この特別分科会Iだけは、県P連の責務として何としても実施したいとの思いから、総務委員会を中心に企画を行い、試行錯誤の末無事に開

催することができました。ただ、開催にあたっては、多くの会員の皆様に参加していただきたかったのですが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、最小限のスタッフのみ、無観客開催（動画配信対応）となってしまうことが非常に残念でした。

このシンポジウムをもとに「県P連の災害発生時の対応ガイドライン」を作成し紹介する予定です。



シンポジスト  
元木山中学校 校長  
永瀬 善久様



シンポジスト  
くまもと心理カウンセリングセンター 副代表  
江崎百美子様



シンポジスト  
県P理事  
村上 竜也



コーディネーター  
くまもと大会  
事務局次長  
福島 恵次先生

コーディネーターを、くまもと大会事務局次長の福島恵次先生に務めていただき、防災について熱い議論が交わされました。

この度シンポジストとして参加させて頂きました、県P理事で上益城郡PTA連絡協議会会長の務めております益城町出身の宇土聡と申します。



熊本県PTA連合会理事  
上益城郡PTA連絡協議会会長  
宇土 聡

一番頼りになるのは日頃からの人ど人との関わり合い

最後にありますが、防災も大事ですが、災害が起きたとき一番頼りになるのは、日頃からの人ど人との関わり合いだと思います。熊本地震の時も、あらゆる方面の個人的にお付き合いがあった方からご支援を頂きました。勿論PTAに



特別分科会 I  
QRコード

なお、熊本県PTA連合会のホームページで、この「防災シンポジウム」の動画を配信していますので、まだご覧になっていない会員の皆様も、ぜひご覧になってみてください。

熊本地震の時に益城町立木山中学校のPTA会長を務めていた事もあり、地震体験者の一人として選出されました。当時のことを思い起こしながら話をさせて頂きましたが、正直2時間足らずのシンポジウムでは全てをお話することは出来ませんでした。しかしながらこのシンポジウムを通してこれから起きうるかもしれない自然災害について協議される時に少しでもお役に立てればと思っています。

今回のシンポジウムでは7月に起きた熊本豪雨災害についても話し合っています。しかしながら、私の個人的な見解ですが、防災対策について協議をされる時にこれまで考えてもいなかった場所、災害の種類、時間帯等様々な場面を想定した協議が必要と思われれます。

今回のシンポジウムに参加し、災害に対する心構えを改めて痛感した次第です。ほとんどの人が災害は自分たちには関係のないことと考えておられるのではないのでしょうか。災害は今の時代どこで起きてもおかしくありません。他人事と考えず明日は我が身と思いい、常日頃から災害に対する対応を家族間で話し合うことをお願いします。



県文化課からのお知らせ

# 本物の文化芸術に触れよう

県では、子どもたちに優れた文化芸術に生で触れる機会を提供するために、文化庁や公益財団法人日本教育公務員弘済会熊本支部と協力して次の事業を実施しており、市町村教育委員会を通じて学校へ応募を呼び掛けています。

文化庁事業では、国が選定した文化芸術団体がオーケストラや演劇、能楽などの優れた文化芸術を行う巡回公演や芸術家が実技披露や指導などを行う派遣などを行います。県では、公益財団法人日本教育公務員弘済会熊本支部と共催で、選定団体が公演や演劇ワークショップなどを行ういきいき芸術体験教室を行っています。

★事業内容については、文化庁 HP 等をご覧ください。

文化庁

- ・巡回公演
- ・芸術家の派遣
- ・コミュニケーション能力向上
- ・体験機会の創出

県・弘済会

- ・いきいき芸術体験教室

令和2年度採択数 81校

小中学校 75校  
私立中・県立学校等6校

県北  
32校

県央  
11校

県南  
28校

天草  
10校

※熊本市(政令指定都市)も同様の取組を行っていますが、この集計には含まれていません。

お問い合わせ先 熊本県教育庁教育総務局文化課

TEL : 096-333-2704

FAX : 096-384-7220

Eメール : bunka@pref.kumamoto.lg.jp

## 「ちよつと一言」



熊本県教育庁  
市町村教育局社会教育課  
課長 須恵 勝幸

「ありがとうございますの反対語は知っていますか。」

これは、昨年8月、甲子園で行われた高校野球交流試合の開会式で、主催者が述べられた一節ですが、その答えは「当たり前前」です。

新型コロナウイルスの感染拡大、令和2年7月豪雨による甚大な被害。私たちの日常を変えた二年でした。これまで当たり前前と思っていたことが、当たり前でなくなり、以前の日常がいかにありがたいかを実感しています。

さて、私たち社会教育課でも、「家庭教育支援の充実」と

「地域学校協働活動の推進」を柱として、学校、家庭、地域が一体となった子供の健やかな成長を支える取り組みを行ってきたところですが、大きな変化を求められることとなりました。

「家庭教育支援の充実」では、毎年多くの保護者や中学生に参加いただいている「親の学び」講座は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての講座や動画配信、さらには、オンライン講座などを実施してきました。これまでにない対応です。

「地域学校協働活動の推進」では、令和2年7月豪雨による被災地域への学習支援ボランティアや体験活動ボランティアの派遣を通して、児童生徒の「学びの保障」や「心身のリフレッシュ」に取り組んできました。

今後も、熊本県教育委員会の合言葉である「子供たちのために、明るく、楽しく、チャレンジ」をモットーに、子供たちの輝く笑顔のため、PTA会員の皆様、地域の皆様と力を合わせ、常に挑戦し続けていきたいと思っています。

「授業づくり」のポイントなどをまとめたものですが、子供たちの学習習慣形成の素地となる環境づくりや、家庭と連携した取組についても示しています。目指すのは「生涯にわたって自ら学ぶ子供」「自ら計画を立て、学習できる子供」です。

県教育委員会では、子供たちに、「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けること」を目指し、「熊本の学び推進プラン」を策定し、学力向上に関する取組を推進しています。大切にしていることは、「子供」を中心に、学校、家庭、地域、行政の「五者」で連携することです。

生涯にわたって自ら学ぶ子供を育成するためには、子供たちが主体的に学びに取り組むとともに、「認められる」「ほめられる」などの経験を積み重ね、自己肯定感を高めていくことが大切です。本県の子供たちは、全国学力・学習状況調査から、「家で自分で計画を立てて学習すること」に課題があります。子供自らが、家庭学習に取り組むためには、学校の授業や働きかけに加えて、家庭での保護者の支援も大切です。各家庭では、子供たちの取組を「認め、ほめ、励まし、伸ばす」という姿勢で関わっていただき、子供たちのやる気を引き出すことを心がけていただければ幸いです。

自ら計画を立て、学習できる子供を育成するために  
本県では「熊本の学び」に取り組んでいます。

熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

**熊本の学び**

「学ぶ意味」を問いながら、  
「能動的に学び続ける力」を身に付けるために

2020年度から学校の授業が変わります。  
熊本の未来の創り手となる子供たちの学び  
「熊本の学び」が新たにスタートします。

熊本の学びでは、子供を中心に、学校、家庭、地域に行政を含めた「五者」で連携した取組を大切にしていきます。

熊本県教育委員会のホームページに以下の資料を掲載しています。どうぞご覧ください。

- ◆「熊本の学び推進プラン」冊子
- ◆「熊本の学び推進プラン」リーフレット
- ◆「熊本の学び推進プラン」啓発用チラシ

**【学習習慣形成の素地チェック】**(お子さんの様子を見て)

<input type="checkbox"/> 読書(読み聞かせ)に親しむ	<input type="checkbox"/> 外で楽しく遊ぶ
<input type="checkbox"/> 家族の一員としてお手伝いする	<input type="checkbox"/> 早寝・早起き・朝ごはん
<input type="checkbox"/> 地域行事へ参加する	<input type="checkbox"/> 動物・植物を育てる
<input type="checkbox"/> 地域に貢献する	<input type="checkbox"/> 自他の命を大切に
<input type="checkbox"/> メディアの使用をセルフコントロールする	
<input type="checkbox"/> 自分の体力や健康に関心をもって運動に挑戦する	

**【家庭学習チェック】** (保護者の方自身で)

- 子供の家庭学習ノートを見ている
- 子供の家庭学習ノートで、よくなった工夫した点をほめている
- 子供が家庭学習を継続することを認め、ほめ、励ましている

**【家庭学習チェック】** (お子さんと一緒に)

- 家庭学習について、ルールを決めている
- 机の上は、学習用具だけで集中できる状態になっている
- 正しい姿勢で家庭学習に取り組んでいる
- 家庭学習を、決まった時刻に始めている
- 家庭学習ノートをもとに子供とのやり取りができています





報告

# 令和2年度 熊本県PTA連合会 他団体との教育懇談・意見交換会

～関係団体と協力して教育の充実と振興を目指して～



県教組との教育懇談会



高P連・市P協との教育懇談会

## 熊本県小中学校長会

令和2年9月18日 熊本県総合福祉センター

例年行われている教育懇談会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で感染防止対策を行い、間隔をあけての開催となりました。

この懇談会は子どもたちの心の教育の充実、確かな学力の向上、健康・体力の保持増進がバランスよく行われ、児童生徒に「生きる力」をはぐくむことが重要な課題となっているなか、これらの諸課題を解決するためお互いの情報を交換し合い、具体的な対応策について共有する事を目的に開催されています。

今年の懇談会ではやはり新型コロナウイルス感染症の影響について、気づきや報告が多くなされました。授業時間の確保はすべての学校で対応に苦慮しながらも、遅れを取

り戻しつつあることが報告されました。また、感染防止の対策を教職員で分担し取り組んでいること、授業における工夫などをお聞きしました。参加した県P理事からは夏休み後にケガをする子が目立つ事やゲームの時間が増えてしまっている事、社会体育でのクラブチームで感染防止の不足を感じる事などが報告されました。また、先生方の子どもの安全安心を確保する姿勢に、感謝の気持ちも伝えられました。

また、GIGAスクール構想において、学校のICT教育推進及びICT支援員の配置についての要望を、校長会とともに県教委や、市町村教育長に提出する話し合いができました。

## 熊本県退職校長会 熊本市PTA協議会

令和2年10月22日 水前寺共済会館グレースシア

この三団体による教育懇談会も例年の開催となっていますが、同じく感染防止対策を徹底しての開催となりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応や七月豪雨からの復旧をはじめSNS関連の問題、いじめや不登校、児童虐待などの継続課題が山積する中、児童・生徒の健全育成を図り、課題の解決を図るため共に語り合い考え合うために開催されました。

ここでは、教員数の不足が指摘される中、退職された先生方の学校・子ども応援団としての支援の現状や今後の在り方を探りました。児

童・生徒との交流を深めるため桜の苗木を贈呈し記念植樹を行った事や、新型コロナウイルス感染症に対し学校教職員が一丸となって取り組まれている様に感じられる事などが報告されました。熊本市PTA協議会からは、休校中のオンライン授業などについて、アンケートを行い、市教委への要望を行った事が報告されました。その中でいま進みつつあるICT関連に対して関心が高いことを感じました。社会体育移行に関連して、放課後児童クラブの現状や子育て支援センターの利用者の増加などが報告され、意見の交換を行いました。

## 熊本市PTA協議会

令和2年10月27日 熊本県婦人会館

この懇談会も例年開催し、お互いの活動報告をもとに意見交換を行っています。コロナ禍の中での開催となり、感染防止対策を施し、声が聴き取りづらい場面もありましたが、活発な意見交換が出来ました。

熊本市PTA協議会からはWithコロナにおける取り組みとして、リモートを活用したハイブリッド開催で研修会を行った事が報告されました。それに対し、研修会の様子やリモートの現状での問題等の質問がなされました。高P連から



もZOOM会議の様子が報告され、コロナ禍での活動の工夫が伝えられました。県P理事からは、活動の報告や豪雨災害への支援、コロナ禍でも、活動を「つなぐ」ための工夫等を報告いたしました。

## 熊本県教職員組合

令和2年12月10日 熊本県教育会館

この意見交換会も例年行われていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を施し、間隔をしっかりと空けて換気を行い実施しました。

教職員を志望する学生が年々減る中、業務でメンタルを病んでしまう先生が増加し、一年目の先生の退職、休職が多くなっているとの報告がありました。それに対し、各支部ごとに先生の悩みの相談を受けている事、保護者も交えて共に取り組んでいる事が紹介されました。また、小学校で35人学級拡大の実現が叶い、教職員の増員や負担の軽減、コロナ禍の中でいわゆる三密の回避に



県教組との教育懇談会のようす

## 熊本県教育委員会

令和3年1月18日 (書面による開催)

県教育委員会との教育懇談会が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症患者の急増があり、対面での開催を中止しました。そこで、以下の事項について書面での懇談を行いました。

1、教育委員会より指導助言いただきたい事項

(1) SNS利用の課題と対応について

「コロナ禍で子供のスマホ等の使用時間が増えるなか、SNSによるトラブルに対処するためには、どのようにすればいいのか教えていただきたい。」

(2) いじめ問題について

「いじめ防止や改善のために、どのような取り組みが行われているか教えてください。」

(3) 特別な支援を必要とする子供たちについて

「変わりゆく時代にあって、特別な支援を必要とする子供たちの就業や進学など、今後、予想や期待しているものは何か教えてください。」

(4) GIGAスクール構想の取り組みについて

「特別支援学校や支援学級におけるGIGAスクール構想に係る入出力支援装置の配備状況を教えてください。また、休校措置があった場合、支援装置の貸出が可能かどうか教えてください。」

(5) 学級編制について

「熊本県の今後の35人学級等、少人数学級編制の見直しについて教えてください。」

2、県教委にお願いしたい事項

(1) タブレット学習について

「タブレット学習のメリット・デメリットを検証し、子供たちの学習環境の充実を図っていただきたい。」

(2) 体罰について

「学校内における教職員の体罰について、防止に向けた取組の徹底をお願いしたい。」

今後子供たちの心身の健全な成長のために連携して取り組んでいくことの重要性を確認しました。





# 令和2年豪雨災害について①

## 葦北地域



熊本県PTA連合会  
葦北郡エリア理事  
村上 竜也

令和2年7月豪雨災害で、多くの町、家、そして学校が被災しました。

芦北町では、佐敷小、佐敷中は浸水のため当面の間使えないほど、甚大な被害でした。

被災当日、両学校が大きな被害に遭ったことを知り、佐敷小、佐敷中の保護者の皆様と、自分の所属する湯浦中の役員さんと生徒と共に復旧作業を行いました。

しかし、数日かけて復旧作業を行っても被害が大きすぎて、もう今の人数では、ペースが及ばず、いろいろな問題を抱えていました。

他の地域の県P理事さんに相談したところ、次の日には、県内各地から重機、機材、物資と多くの方が支援に駆けつけてきてくれました。

また葦北郡PTA連合会の復旧ボランティアの呼びかけに対し

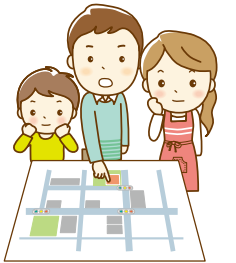
ても、町内外から250名を上回る参加があり、学校の早期復旧の大きな力となりました。本当にありがとうございます。

近年、毎年のように報告される観測史上最大記録など、どこで何が起るか分からない異常気象。そんな状況下で、いつ自分の地域や学校が被害に遭うかもわからない自然災害。

明日は我が身という言葉がありますが、もし、身近で災害が起き被災した時、早期に大きな組織力をもって、支援してくれるのは、やはりPTAのネットワークです。

今回、復旧作業や災害支援に取り組み思ったことは、PTAとは、敷居が低く加入所属することができ、また困り事には、最大限の協力が得られるとても身近な大きな組織だということです。

被災後、一緒に復旧ボランティアした役員さんと共に、各学校へ講演活動等に取り組みんでいます。防災について少しでもお伝えして、お役にたてるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。



その組織力を、最大限に発揮するには、各学校保護者間の親睦や、その枠を超えて他の単位PTAとの交流やつながりを普段から大事にすることです。

何もなにも越したことはありませんが、九州では、大きな災害が毎年起きています。

このPTAで繋がる人脈や出会いを有効に使うには、各会員さんの日頃のPTA活動への参加状況も大きく影響します。

皆さんも普段のPTA活動を楽しみながら、ぜひこの組織の防災としての活用についても考えてみてもらえたらと思います。

被災後、一緒に復旧ボランティアした役員さんと共に、各学校へ講演活動等に取り組みんでいます。防災について少しでもお伝えして、お役にたてるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。

## 令和2年度 表彰紹介



優良PTA  
文部科学大臣表彰

南阿蘇村立中松小学校育友会

玉東町立山北小学校PTA

山鹿市立平小小学校育友会



公益社団法人  
日本PTA  
全国協議会会長表彰

(団体)

和水町立菊水中学校PTA

山鹿市立鹿北中学校PTA

(個人)

田浦 かつり

(熊本県PTA連合会前副会長)

児玉 裕美

(熊本県PTA連合会前副会長)



第42回全国小・中学校  
PTA広報紙コンクール

日本PTA全国協議会  
会長賞

球磨村立渡小学校PTA



熊本県社会教育功労表彰  
(教育委員会表彰)

松村 太

(熊本県PTA連合会前理事)

## ハートフル講座

県P理事対象の「ハートフル講演会」から

### 『親に笑顔子どもに夢を』

何らかの理由で学校に行けない、不登校の子どもが全国的に増えています。年間30日以上欠席した子は不登校としてカウントされ、29日以下や、保健室登校の子は不登校にカウントされません。学校によっては、欠席がちな子がいても不登校はないと報告している学校もあります。30日以上であれば、29日以下であれば、学校に行けなくて悩んでいる子どもや親がいる現実があります。

私もその一人でした。私は当時、小学5年生の我が子が学校に行けない現実を受け入れることができませんでした。自分の常識では考えられない毎日でした。否定的な言葉でたくさん傷つけました。時には互いに暴力をふるうまでに。家の扉はたくさん壊れています。壁にも穴が開いています。家庭崩壊でした。私は、自分のプライドばかり気にして、周りとは比べてばかりいました。その葛藤は長い期間(約6年間)続き、そんなころPTAの役員依頼がありました。最初は断っていましたが、頼まれごとを試され、と、思い直したのと、今の自分を変えたくて、役員を引き受けました。研修会等に参加していく中で、不登校で悩ん

でいる保護者がたくさんいることを知りました。そこから、同じように悩んでいる家族を支援したいと、家族支援の茶話会を開くようになりました。今は、コロナ禍で集まることができず、リモートにも挑戦しました。話すことで、気持ちが楽になります。茶話会に参加されている保護者さんからのメッセージを紹介します。「子どもが不登校になって、いろんな方に、大丈夫よって声をかけていただくことも多いのですが、やはり、同じ経験をされている皆さんの声はダイレクトに心に響いて、なるようになるさって思えるようになります。話を聞いてもらい、共感していただける、このような場所・機会があることが、本当にありがたいと思います。」

親が変われば、子どもは変わる。私が変わることで、子どもも良い方向へと向かっていき、やりたいことを見つけ、夢を語るようになりしました。ある時、我が子から「親は子どもが安心してできる環境をつくることだよ」と、言われちゃいました。

親は子どもの将来を心配しすぎてルールを敷こうとしてしまいがちですが、親の役割は子どもの安心できる場所をつくること、それだけで



熊本県PTA連合会  
菊池市エリア理事  
山口 法子

良いのでしょね。我が子がそう言った後にテレビで不登校についてお話しされているある先生が同じことを言われていました。「親の役割は、子どもが安心してできる環境をつくることだよ」と。それからの私たちは、人との比較をやめ、人を否定するのではなく、肯定し、そして受け入れることで、たくさんの人から応援されるようになりました。

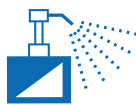
悩んで戦い続けるより、楽しく生きる方法を見つけたほうが良い。親が人生を楽しんで笑顔でいる姿を見せることが、子どもに夢をもってもらうことにつながると思います。

茶話会のような



茶話会のような





# コロナ禍で頑張る子どもたち



## 小中合同ビンリサイクル

**県南** 令和2年11月8日(土)に、水俣第二小学校と水俣第二中学校のPTA合同で、ビンリサイクル活動を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛などがあり、実施すべきかどうか迷いましたが、感染拡大防止を徹底して実施することになりました。第1回小中合同会議では、密を避けるた

め、水俣第二中学校の体育館で換気を十分に行い、検温し検温カードには連絡先を書いてももらいました。また、人との間隔を十分にとれるように体育館フロアに座ってもらう配慮をし、短時間で終了できるように工夫をこらしました。水俣市では、23品目の家庭ごみ収集が月1回、地区の方が中心となり、分別場

所(ごみステーション)でごみ分別を行っています。本校生徒は、自分の住んでいる地区の家庭ごみ収集に参加して一緒に活動しています。当日は、全体の収集場所であるリサイクル業者の施設にPTA執行部を配置し、小中それぞれのPTA地区委員さんが、ごみステーションで仕上げ作業を行いました。保護者

だけではなく、各地区の小中学生も多数参加することができました。また、地域の方々にも協力いただき、充実した活動になりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PTA活動を自粛することが多いのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底し活動を今後も行っていききたいと思



## 『出口戦略守るんジャー』 出動!

**県南** 7月、本校の生徒保健委員13名は、「新しい生活様式」を効果的に発信するため、感染対策に配慮しながら劇を行いました。コロナ禍において、感染拡大を最小限に抑えながら出口へ進むための戦略(養護教諭の名前の出口に掛けて「出口戦略」を発表しました。劇は総理大臣に扮した生

徒が緊急会見を行い、「新しい生活様式」について説明した後、記者からの質問に答えるという内容です。途中のコーナーシヤルのシーンでは、『出口戦略守るんジャー』が登場!

- ① 人との距離は1m以上
- ② 空気を入れ換え
- ③ マスク着用
- ④ こまめに石けんを使って30秒
- ⑤ 睡眠・栄養

は手や顔を洗い、すぐに着替えるかシャワーを浴びることなども確認しました。観劇した生徒からは、「役になりきったインパクトのある劇で、新型コロナウイルス感染症対策がわかりやすくしてスツと心に入った。」という声が聞かれました。保健委員は全生徒が健康に過ごせるように今日



も活動しています。



## 伝統のバトンは 途絶えさせない

**県北** 本校では6年生になると、毎年行う学習発表会で、菊之池の歴史について地域・人に学んだ事の発表と、和太鼓の演奏を行います。和太鼓は13年前に総合的な学習の時間に地域の歴史を学ぶ中で、「延寿太鼓」としてスタートしたものです。はじめはバケツ太鼓を叩いていましたが、その後地域の皆様から16基もの

立派な太鼓を寄贈いただきました。指導も地域の方に依頼し、近年は菊池一族に仕上げた刀鍛冶である「延寿鍛冶」ゆかりの『延寿太鼓』として、市の行事に参加させていただいています。

指導者は前PTA会長の田中文容子さんに依頼して12年。毎年約半年の期間で子ども達は太鼓を習得してい

くのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で10月後半からの開始。ひと月で楽曲を習得しなければならず、発表の場も今年には校内の学習発表会のみという現状。しかし短期間だからこそ集中して、2クラス53名がみんな心をついに練習に励んでいます。



せるように、体力をつけて今年もみんな頑張っています。



2020年度 親子ふれあいデー活動

### コロナ禍での初挑戦！二小PTA秋祭り

南関町立南関第二小学校

Report

南関第二小学校は、歴史と伝統のある学校で、校区には400年の歴史をもつ「小代焼」の窯元や竹材加工などの伝統産業、「くまもとホテルの里100選」にも選ばれたホテルの里公園があります。豊かな自然と歴史に囲まれた中で、86人の子もたちは純粋で明るく、学習や運動に熱心に取り組んでいます。家庭、地域の学校教育への期待や関心が高く協力的で、授業参観やPTA活動への出席は多く、学校応援団活動や放課後子ども教室においては、PTAと地域が一体となって運営を行っています。さらに祖父母学級及び田植えや稲刈り体験、もちつき大会といった子どもた



二小 PTA 秋祭りのようす

ちの体験活動を支え、豊かな心の醸成につながる活動が続けることができたのも、歴代PTA会長や地域の方の支えがあったからです。  
【親子ふれあいデー活動】  
例年「もちつき大会」を実施してい



#### 学校の概要

- 玉名郡エリア
- PTA会長 藤本 啓二
- 校長 隈部 孝二
- 原稿執筆 前田 美幸
- 児童数 148人
- 教職員数 14人

ました。しかし今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、もちつき大会のかわりに、少しでも子どもたちに楽しい時間を過ごしてほしいという思いから、『二小PTA秋祭り』を企画しました。金魚すくい、保護者の手作りによる空気砲やおかし釣り、そしてスライムづくりを行いました。平日での開催でしたが、大人も子どもも楽しいひとときを過ごすことができました。地域・保護者の皆様の愛情に感謝の気持ちでいっぱいです。

2020年度 ふれあい読書研究会

### 「小川ふれあい塾」での地域とのつながり、生徒主体の「ブックトーク」

Report

宇城市立小川中学校



本校では、6年前から地域の方をお招きして『小川ふれあい塾』として毎月第三木曜の朝自習の時間（15分程度）に様々なお話をしてもらっています。今年度は4月・5月の休校等により前期の活動を自粛しておりますが、後期からはマスク着用の徹底・手指の消毒・教室の換気などの感染防止策を十分に実施した上で再開しています。1年生のクラスでは本の読み聞かせをし、2・3年生のクラスでは各人の豊富な経験を活かしたお話（「仕事に関する事」「郷土の歴史や文化」「特技や趣味」「人生経験」など）をして頂くことで、生徒達の地元に対する郷土愛や将来の仕事への関

心を育てていきたいという思いで地域の方が積極的に協力してボランティアで活動して頂いています。  
また、今年度は学習委員会の活動として、生徒が主体的に読書活動を推進する「ブックトーク」を行いました。これは生徒全員がおすすめの本をクラスで紹介するというものです。本を人に紹介するというのは初めての生徒が多数でしたが、普段本を読む機会が少ない生徒も自分紹介する本を借りるために図書室に来て一生懸命選んでいる姿が沢山見られました。  
今後とも「地域の方と

#### 学校の概要

- 宇城エリア
- PTA会長 山中 基貴
- 校長 寺本 洋一
- 原稿執筆 寺田 理砂
- 生徒数 387人
- 教職員数 31人

のつながり」や「読書の機会をふやす活動」を大事にしながら活動を続けていきたいと考えています。



1年生のクラス 本の読み聞かせのようす

### トロに見守られ 元気な笑顔が いっぱい!

#### 菊池市立 泗水西小学校PTA

- 県北 菊池市エリア
- 教職員数 16人
- 児童数 73人

本校の校門には、コナテガシワで作られた巨大なトトロとバス停があります。さらに、正面玄関までの約50mの道にも同様のトトロが約30体あります。通る人は、校門から正門までトトロに見守られながら歩くことになりま。この道をトトロロードと名付け、子どもたちだけでなく来校された方々を出迎えてくれています。このことが新聞・ラジオ等でも



トロード

す。ぜひ、本校へおいで下さい。

- 校長 津幡 光浩
- PTA会長 磯田 崇
- 原稿執筆 富永 泰寛

### この時代、この地域だから できることを探して...

#### 上天草市立 姫戸中学校PTA

- 県南 上天草市エリア
- 教職員数 13人
- 生徒数 42人



単P紹介

姫戸中学校は小学校と合同の学級運営協議会があり、保護者や地域の方が大変協力的な学校ですが、本年度は様々な行事や活動を中止、変更せざるを得ませんでした。  
1年生の集団宿泊教室は泊2日であるを自転車や徒歩でまわり、名所や史跡で地元の方にガイドをして頂く地域体験活動に変更しました。山中のダムや、戦没者や天

草大水害の慰霊碑、鍾乳洞、世界最小級トンボがいる湿地帯、謎の巨石群など、ふるさとから多くのことを学べました。文化祭は時間短縮で行いましたが、3年生が48年前の天草大水害の史実に取材した「ひめどのキセキ」という劇を披露しました。PTA活動では登下校見守り活動を実施しています。輪番で全員が年に1回担当しています。文化祭では給食試食会を実施しました。今年度は全生徒との会食ができず、学校栄養職員の説明を聞きながら

保護者のみで行いました。リサイクルバザーも実施し、生徒達の活動費に充てています。小中合同の体育大会や持久走大会では、体育委員を中心に運営に携わっています。7月の豪雨災害では、PTAと生徒会が合同で募金を実施し、義援金を送りすることができました。  
また、これまでの役員選出方法を地区選出と学級選出に分けることで不均衡をなくしたり、会合の数を減らしたり等、時代の変化に合わせて改革を進めながら、持続可能な「できることをでき



登下校見守り活動の様子



地域体験活動「権現鍾乳洞」

- 可能な「できることをでき
- たしこ」の精神でPTA活動に取り組んでいます。
- 校長 切通 努
- PTA会長 碓 聡明
- 原稿執筆 野村 英隆





どちぎ大会  
どちぎPTAホームページ

今年度の研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け対面での開催は難しいと判断し、動画視聴による開催といたしました。まず、各エリアの家庭部員の皆様に、本年度唯一、動画配信形式で開催された「第52回日本PTA関東ブロック研究大会とちぎ大会」の動画の中から、興味のある分科会を視聴していただき、その後Webにてアンケートへの回答・感想をいただくという形式です。

初めての試みで、皆様の反応が気になりながらの実施でしたが、各々が都合の良い時間に視聴が可

能で、しかも、理解しにくい所は何度でも視られるという点においては、参加しやすい研修になったのではないかと思います。理解度についてお尋ねしたアンケートの結果では、通常の研修会との理解度に差は無いと思われ、むしろ動画の方が理解しやすいと回答された方も3割程度いらっしゃいました。また、視聴いただいた分科会のテーマや、強く印象に残った動画として「広報活動、情報モラル・情報活用能力の育成」と題するもの、「教育は家庭から」と題するものが挙げられ、現在の子どものちや各家庭を取り巻く課題解決のため、私たち家庭部会が今後取り組むべき事業の参考となりました。まだ収束の見えないコロナ禍にお

いて、様々な研修をどのように実施していくのかは、この家庭部会のみならずPTA全体としての課題です。これまでのような参加者同士のふれあいや意見交換が可能となる日が再び訪れることを望みつつ、実施可能な方法を探りながら活動の継続を図りたいと思います。

開催中止もつ方法ではありましたが、どうにか実施したいとの思いで理事同士何度も話し合うなかで、関東ブロックPTA協議会から、「熊本県の会員の皆様のため、是非活用ください」と温かい言葉をいただき、今回の研修会を開催することができました。他地域のブロック大会に触れられる機会を得られたことは、私自身良い経験となりました。



### 動画視聴を通じた学び 初めての試みから



熊本県PTA連合会 理事 古澤 美和

## オンデマンドで学ぶ「親の学び」講座

熊本県教育委員会

### オンデマンドで学ぶ「親の学び」講座とは

子育てのポイントや豆知識について、科学的な知見をもとに、短い時間の動画視聴で気軽に学ぶことができる講座です。(6～7分程度)

#### 「正しく理解、睡眠のあれこれ」(睡眠編)



決まった量の睡眠をとることで体内時計を整えることや、発達段階に応じて十分な睡眠時間をとることなど、睡眠の正しい習慣に関することについて学びます。

【QRコード】



【睡眠編】

#### 「知って得する、食事と健康の関係」(食事編)



毎日朝食をとることの重要性、食事をとる適正な時間、消化に良い食べ物など、食事と子供の健やかな発達との関係について学びます。

【QRコード】



【食事編】

#### 「デジタル機器との適切な付き合い方」(デジタル機器編)



スマートフォンやタブレット PC 等のデジタル機器の使用時間や家庭内におけるデジタル機器の使用のルール作りなどについて学びます。

【QRコード】



【デジタル機器編】

### オンデマンドで学ぶ『親の学び』講座が視聴できます!

【見てみるモン!】

上記講座は各動画の説明の右側にあるQRコードから視聴できます。お時間があるときに、ぜひ視聴ください。(お手持ちのスマートフォン等で視聴できます)



問い合わせ先 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課  
Tel:096-333-2697 Fax:096-387-0089

## 熊本県PTA連合会

### 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)のご案内

学校内外でケガをしたら...  
自転車を運転していてケガをさせてしまったら...

2021年1月現在の内容です。

### 任意加入保険

#### 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)

お子さまを取り巻く様々な事故のリスクに対応します。  
学校内外でのケガを補償します。

学校内外でのケガを補償します。

他人にケガを負わせたり他人のものを壊したりした場合に補償します。



上記の他にも、病気補償・学校管理下産補償・育児費用補償・被害事故補償など様々な補償でお子さまをお守りします。 ※補償内容、保険金額はプランにより異なります。

#### ●団体割引制度により保険料は約27%割引

当制度は、PTA団体加入制度のため、約27%保険料が割り引かれています。5種類のプランの中からお選びいただけます。1年間の掛金1,950円～(プラン・補償開始日により掛金は異なります。)加入件数/4,723件(2020年度)

※割引率について:このパンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対する割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

この制度の詳細な内容は、こちらからも確認頂けます。

『お子さまのための総合保障制度』

<https://riskfinder.jp/school/>



### お申込み・お問合わせ

熊本県PTA連合会 小・中学生総合保障制度事務局

# TEL:0120-228-553

受付時間:平日/午前9時～午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5 セレス薬院5F 株式会社コーリン内

制度引受保険会社: AIG損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株) ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申し込みください。 S-210345(2021-12)

## (財)熊本県PTA教育振興財団からのお知らせ

### 共済期間は: 学校などの年度に対応する1年間(4月1日から翌年3月31日まで)になります。

本年度ご加入の方々のPTA活動や部活動関係の活動で共済給付の対象となるのは、令和3年3月31日までに実施されたものとなります。

### 春休み期間のご注意:

春休み中でも4月1日以降に、本年度の学級や学年での活動が実施された場合、共済の対象とはなりません。また3月31日までは、小学校6年生や中学校3年生が、進学予定の中学校や高校の部活動などに参加する場合、本年度の共済の対象とはなりませんので、事故発生時の補償についてはご注意ください。

### 交通事故が減りません! 命を守る努力を...

本共済P災コースでは、児童生徒の皆さんの登下校中の交通事故にも共済金を給付しています。令和1年度中の交通事故に対する給付は、前年度までに報告された事故を含め計154件(うち後遺障害1件)で、そのうち小学生・中学生の事故は45件(中学生29件、小学生16件)でした。中学生の自転車通学中の事故や、横断歩道のない場所での渋滞中の車の間を横断した際の事故が目立ちます。道路交通法、自転車安全利用ルールを守り、自転車乗車時はヘルメットを着用し、自分も周りの方々の命も守る努力をしましょう。

### 学校管理下の事故にも対応しています。

児童生徒の皆さんが学校管理下(登下校中を含む)で被災した場合にも、死亡あるいは後遺障害、歯科保険外治療、交通事故等について、本共済からの共済金給付が受けられます。また、ご加入の保護者(PTA会員)の方々はPTA活動に加えて、学校行事や部活動支援活動(PTA会長の承認がある場合)に参加中の事故(往復中を含む)にも対応しています。このような場合の事故発生時には、事故発生から1か月以内にご報告をお願いします。

### COVID-19C 活動中の感染予防対策を、常に基本として継続しましょう

感染の拡大が止まらない新型コロナウイルス感染症です。無症状の感染者からの感染リスクが高いことや家庭内感染が問題になっています。さまざまな活動の中でも、多くの人が密になって飲食をする、マスクの使用なしに近距離で会話する、などの行為を避け、濃厚接触者をださない対策を心がけましょう。自分は大丈夫、これくらいは大丈夫、と思うのは危険です。

### 熊本県PTA共済に関するご質問やご連絡

共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類など、お気軽にお問い合わせください。

## 熊本県PTA教育振興財団事務局

TEL:096-278-8811 フリーダイヤル:0800-200-5553



# 令和2年度委員会報告

## PTA活動の 情報発信源として



広報委員会  
委員長  
西田 恵介

広報委員会では、年2回の新聞発行をしております。会員の皆様が読みたくなるような新聞づくりを目指して、情報の収集や原稿依頼を行ってまいりました。しかし、今年はお承知の通り、大雨による災害や新型コロナウイルスの影響で

さまざまな活動が中止や縮小になりました。このため、例年のように原稿を依頼することが出来なため、試行錯誤の一年でもPTA活動の在り方や、リ

モート等による新たな活動を取り入れ、変化に対応した二年であったと思います。委員会として、この現状をより多くの方に伝え、情報の共有を図れるように努めてまいりましたが、

## 新しい形式、 そして取り組みを!



家庭教育委員会  
委員長  
橋本 昭

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、九Pくまもと大会をはじめ、様々なPTA活動や事業が中止になりました。私たち家庭教育委員会も同じで、毎年行っている「ふれあい読書研究会」「親子ふれあいデー」の委嘱式や中間報告会といった例年行っていることが行えませんでした。

特に中間報告会は、毎年実り多い会になっていきましたので、私自身楽しみにしていましたが開催に至らず残念でした。また、家庭部会と協力して行っている、家庭部会研修会も例年は8月頃行っていますが、対面での研修会は感染リスクが伴うため、開催時期を見定めていたが難しく、理事会で何度も

協議の上、リモート開催となりました。各エリア部員の皆様に動画視聴による研修をしていただき、Webアンケートに回答していただく形式を取らせていただきました。最後に本年度の家庭教育委員会の活動は不本意でありましたが、ご理解と協力をいただきました皆様、ありがとうございます。

## コミュニケーションの 大切さを考えた1年



教養委員会  
委員長  
藤井 千秋

教養委員会は、コロナ禍の影響で計画していた事業を行う事ができませんでした。今年度の大きな目標であった「九Pくまもと大会」が中止になりました。熊本には県Pと市P2つの大きなPTA組織がありますが「九Pくまもと大会」については2つの組織が一緒になり組織委員会を結成し準備を進めていきました。九州各県・政令指

定都市から、たくさんの方の皆様に集まり頂き、講演や討議を通して学びや意見交換ができる事を信じ、私自身とても楽しみにしておりましたので非常に残念な思いです。感染拡大防止を考えると「人と人」が集い語り合う事ができないもどかしさを感じています。各単Pにおかれましても、例年の行事ができず、同じ思いをお持ちだと考えます。

教養委員会では半年前より3月に開催予定の「単位PTAリーダー等研修会」を動画の視聴を通して、学びの場を提供できるように準備を進めています。各単位PTAの行事についても、大変な苦労があるかと思えます。中止するにも勇気ある決断が必要で、実施するとなれば、時間も手間も費用も必要ですが、その過程も素晴らしい学びではないでしょうか。行事が出来なかつ

## 将来を見据えた 取り組み



総務委員会  
委員長  
田中 万里

今年度はコロナ禍や7月豪雨で子どもたちの教育環境も大きく変わり、PTA活動等にも大きな影響が出ました。そのような中、九州ブロックPTA研究大会くまもと大会(以下、九Pくまもと大会と表記)は中止になりましたが、総務委員会を中心に特別分科会「防災」をテーマにしたシンポジウムを実施し、県P

ホームで動画配信しています。このシンポジウムを契機に、「災害発生時のガイドライン」を作り、対応例を示します。また、来年度より小中学校の授業で本格導入となるICT教育の更なる教育環境の充実を求め、県教育委員会等に要望書を提出し、前向きな回答を得られました。さらにコロナ禍で延期したICT教育の先進地視察

研修の実施や、県P規約の一部見直しについても協議しております。今年度、各エリア代表理事として総務委員となり、様々な取り組みを進める中で、互いに将来を見据えた子育てや教育環境の充実に向けて取り組もうとする委員の熱意を強く感じています。昨今はPTAの役員となり手不足などの話も聞きますが、今回の

令和2年7月豪雨災害

## ご支援をいただきました 会員の皆様へ

令和2年7月豪雨災害に際しましては、会員の皆様より心のこもったご支援と励ましの言葉をいただき、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。

また、この度も日本PTA全国協議会や九州ブロックPTA協議会の素早い対応や協力をいただきましたこと、今もなお、県内のみならず全国のPTAから支援が寄せられ、支援金は12月時点で三百万円程になっております。

いただきました支援金や支援助物は、特に被害の大きかった人吉市・球磨郡・八代

熊本県PTA連合会  
会長 村崎 一英

**ご案内**

第47回熊本県PTA研究大会

宇城大会

2021年11月13日(土)開催

### 編集後記

今回はコロナ禍のため、九Pくまもと大会をはじめすべての研究大会が中止となり、紙面は変えました。このため、会員相互の交流の場がなくなり、

今年度、原稿の執筆等ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。